スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

富山県黒部市

自 治 体 名 ： 富山県黒部市
担 当 課 名 ： 黒部市教育委員会スポーツ
電 話 番 号 ： 0765-54-2769

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	426.3k㎡
人口	38,826人
公立中学校数	2校
公立中学校生徒数	977人
部活動数 （運動部活動のみ）	30部活
地域クラブ活動数	18クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

〈中学部活動が抱える課題〉

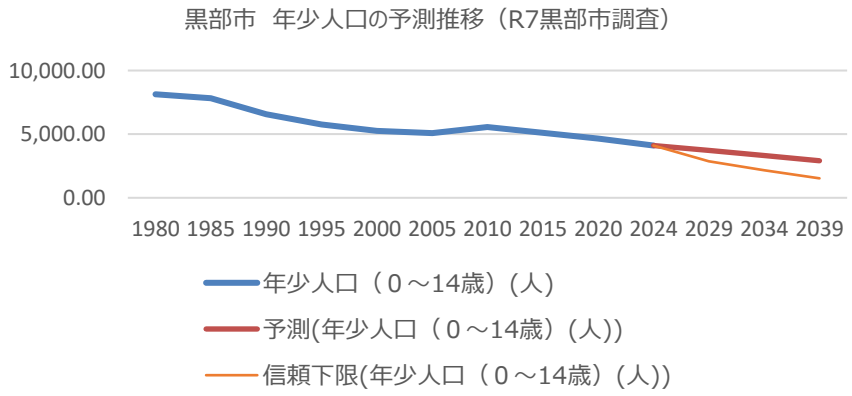
- 現状部活動には満足しているが、専門的な指導を希望している生徒が多く存在している。
- 中学部活動で専門的な指導が得られないことによるモチベーションの低下している。
- 顧問が生徒の希望やニーズに応えられない。
- 生徒数の減少による一部部活動における部員数不足が懸念される。

〈地域部活動における主な課題〉

①全部活動実施に向けた指導体制や活動を担う指導者が不足している。
②指導者の質の向上を目指す。
③参加者の負担が増加している。（費用、送迎）
④多様なニーズへの対応が必要である。
⑤教員の部活動への負担が増加している。

〈各競技協会が抱える課題〉

- 少子高齢化の進展による競技者数の減少がみられる。
- スポ少・中学部活動・高校部活動・社会人（企業チーム・クラブチーム）の一貫した指導体制の欠如している。
- 指導機会が少ない。（マンパワーの未活用）

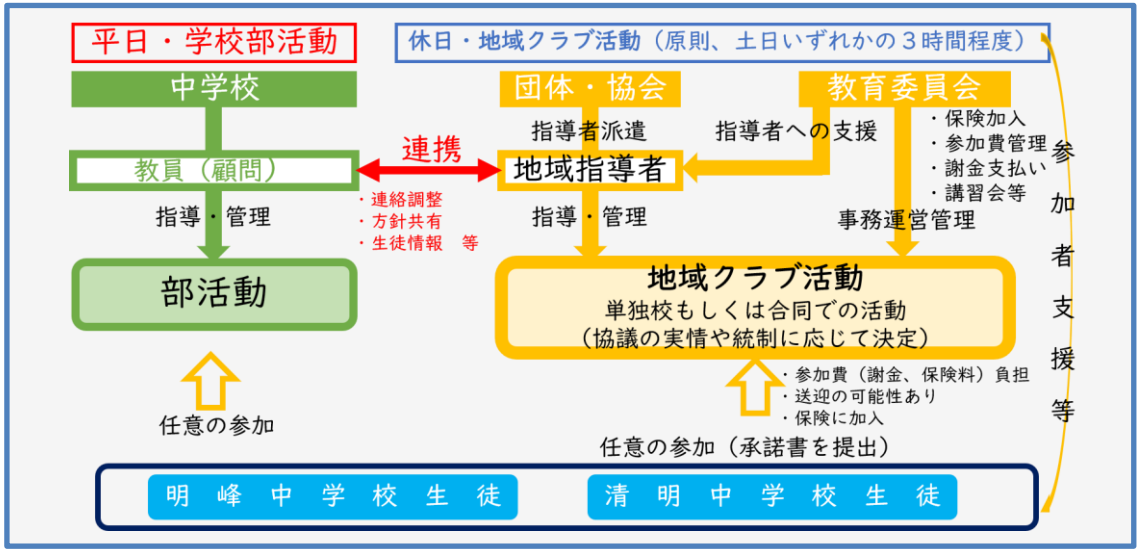


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
（スポーツ課）
事務運営管理　検討会運営　競技団体との連絡調整　学校との連絡調整
各種説明会の実施
（学校教育課・生涯学習文化課）
検討会への参加、文化関係団体への連絡調整
◉首長部局
特になし
◉コーディネーター
設置していない

年間の事業スケジュール

令和7年	
4月～	令和6年度活動スタート、管理運営
4月	1年生向け説明資料の配布
5月上旬	1年生参加登録
7月下旬～8月下旬	対象クラブ指導者へのヒアリング
8月～10月	保護者へ参加料の納付案内
11月下旬	地域移行方針に向けた中学校校長との協議
11月～12月	各競技ごとの話し合い、ヒアリング
12月上旬	対象部生徒・顧問アンケート実施

令和8年	
1月	あり方検討会
1月下旬	中学校説明会で新入生へ説明
3月上旬	新規開始部活動説明会
	教職員向けに理解促進のための資料配布
3月下旬	指導者説明会
3月末	新2、3年生参加登録

通　年
競技関係者との打ち合わせ、課題検討
参加者管理（参加登録、保険対応等）
指導者管理（指導者登録、報告書管理、謝金支払）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		18クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		クラブ（27部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		3クラブ（9月～男子バスケットボール、女子バレーボール4月～、10月～）
全体の指導者数	65人	全体の運営スタッフ数	1人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
清明中学軟式野球クラブ	黒部市教育委員会	軟式野球	休日週1回 平日週2回	9:00 ～12:00 16:00 ～17:30	1年：4 2年：6 3年：6	通年	学校グラウンド	3人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務1人）	年会費 1年:5,500円 2年:6,000円 3年:2,000円	部活動
明峰中学軟式野球クラブ	黒部市教育委員会	軟式野球	週1回	9:00 ～12:00	1年：7 2年：10 3年：11	通年	学校グラウンド	2人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務1人）	年会費 1年:5,500円 2年:6,000円 3年:2,000円	部活動
明峰中学女子バレーボールクラブ	黒部市教育委員会	バレーボール	週1回	9:00 ～12:00	1年：2 2年：2 3年：3	4月 ～9月	学校体育館	4人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務0人）	年会費 1年:2,500円 2年:3,000円 3年:2,000円	部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
明峰中学男子バスケットボールクラブ	黒部市教育委員会	バスケットボール	休日週1回 平日週3回	9:00 ～12:00 17:30 ～19:00	1年：5 2年：3 3年：21	4月 ～8月	学校体育館 社会体育施設	5人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務0人）	年会費 1年:2,000円 2年:2,500円 3年:2,000円	部活動
明峰中学女子バスケットボールクラブ	黒部市教育委員会	バスケットボール	週1回	9:00 ～12:00	1年：0 2年：8 3年：4	通年	学校体育館 社会体育施設	2人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務1人）	年会費 1年:5,500円 2年:6,000円 3年:2,000円	部活動
アーチェリークラブ	黒部市教育委員会	アーチェリー	休日週1回 平日週1回	9:00 ～12:00 15:30 ～17:00	1年：1 2年：7 3年：15	通年	学校ピロティ 社会体育施設	2人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務0人）	年会費 1年:5,500円 2年:6,000円 3年:2,000円	部活動
陸上競技クラブ	黒部市教育委員会	陸上競技	週1回	9:00 ～12:00	1年：20 2年：32 3年：11	通年	市外陸上競技場	11人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務0人）	年会費 1年:5,500円 2年:6,000円 3年:2,000円	部活動
柔道クラブ	黒部市教育委員会	柔道	休日週1回 平日週2回	9:00 ～12:00 19:00 ～21:00	1年：5 2年：6 3年：4	通年	学校武道場 市内武道場	6人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務0人）	年会費 1年:5,500円 2年:6,000円 3年:2,000円	部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
剣道クラブ	黒部市教育委員会	剣道	休日週1回 平日週1回	9:00 ～12:00 19:00 ～21:00	1年：7 2年：12 3年：11	通年	学校武道場 市内武道場	4人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務0人）	年会費 1年:5,500円 2年:6,000円 3年:2,000円	部活動
バドミントンクラブ（普及型）	黒部市教育委員会	バドミントン	月2回	9:00 ～12:00	1年：25 2年：23 3年：22	通年	学校体育館 社会体育施設	8人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務2人）	年会費 1年:2,250円 2年:3,000円 3年:1,000円	部活動 クラブチーム
ソフトテニスクラブ（普及型）	黒部市教育委員会	ソフトテニス	月2回	9:00 ～12:00	1年：35 2年：12 3年：10	通年	市内テニスコート	13人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務0人）	年会費 1年:2,250円 2年:3,000円 3年:1,000円	部活動
卓球クラブ	黒部市教育委員会	卓球	月2回	9:00 ～12:00	1年：8 2年：3 3年：2	通年	学校体育館	3人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務0人）	年会費 1年:2,250円 2年:3,000円 3年:1,000円	部活動
清明中学女子バスケットボールクラブ	黒部市教育委員会	バスケットボール	週1回	9:00 ～12:00	1年：2 2年：4 3年：0	通年	学校体育館	2人	指導者が運営スタッフを兼ねる（内、兼務0人）	年会費 1年:3,500円 2年:3,500円 3年:2,000円	部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）：地域クラブ化

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
BC.Kurobe	黒部市バスケットボール協会	バスケットボール（男子）	休日週1回 平日週3回	9:00 ～12:00 17:30 ～20:00	1年：3 2年：5 3年：21	9月 ～3月	学校体育館 社会体育施設	4人	指導者が運営スタッフを兼ねる （内、兼務0人）	参加費 ①6,000円/月 ②3,000円/月	クラブチーム
黒部ジュニアバドミントンクラブ	黒部市バドミントン協会	バドミントン	休日週1回 平日週3回	9:00 ～12:00	1年：7 2年：8 3年：7	通年	学校体育館 社会体育施設	6人	指導者が運営スタッフを兼ねる （内、兼務0人）	参加費 5,000円/月 1,000円/保険料	クラブチーム
Cereje VC	黒部市バレーボール協会	バレーボール（女子）	休日週1回 平日週3回	9:00 ～12:00	1年：6 2年：1 3年：6	通年	学校体育館 社会体育施設	2人	指導者が運営スタッフを兼ねる （内、兼務0人）	参加費 2,000円/月 1,000円/保険料	クラブチーム
黒部VC	黒部市バレーボール協会	バレーボール（女子）	休日週1回 平日週3回	9:00 ～12:00	1年：10 2年：4 3年：5	10月 ～3月	学校体育館	2人	指導者が運営スタッフを兼ねる （内、兼務0人）	参加費 2,000円/月 800円/保険料 その他 27,000円	クラブチーム
NSTC	黒部市教育委員会	ソフトテニス	休日週1回 平日週3回	9:00 ～12:00	1年：4 2年：7 3年：6	11月 ～3月	市内体育施設	2人	指導者が運営スタッフを兼ねる （内、兼務0人）	参加費 5,000円/月 1,000円/保険料	クラブチーム

2.実証内容と成果

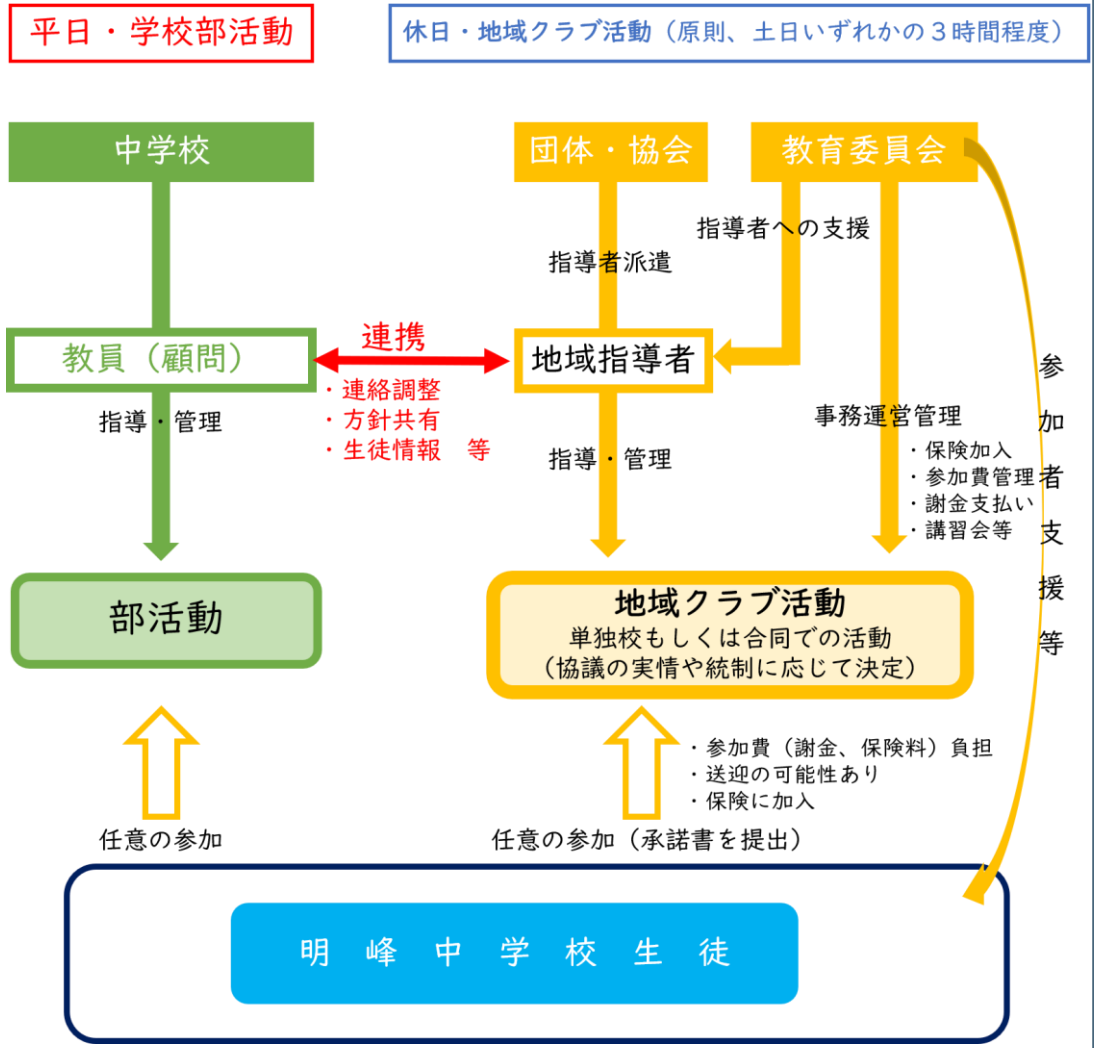
スポーツ庁

主な取組例

●明峰中学校　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、アーチェリー、陸上競技、柔道、剣道、バドミントン、ソフトテニス、卓球、軟式野球
運営団体名	陸上：クラブチーム、その他各競技協会
期間と日数	● 週1回程度：女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、アーチェリー、陸上競技、柔道、剣道 ● 月2回程度：バドミントン、卓球、ソフトテニス
指導者の主な属性	競技協会からの派遣指導者
活動場所	中学校体育施設、市内体育施設、市外陸上競技場
主な移動手段	保護者送迎、徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	● 週1回種目： 1年5,500円、2年6,000円、3年2,000円 ● 月2回種目： 1年2,250円、2年3,000円、3年1,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○ 運営団体・実施主体の運営体制の整備を関係者で協議する。
○ 指導者や教員等の関係者へのヒアリングを実施する。
○ 未実施である種目の競技団体、部活動指導者と地域展開に向けての展望を協議する。
○ 登録・認定制度についての合意を図る。
○ 休日の運動部活動原則禁止への合意を図る。

取組の成果

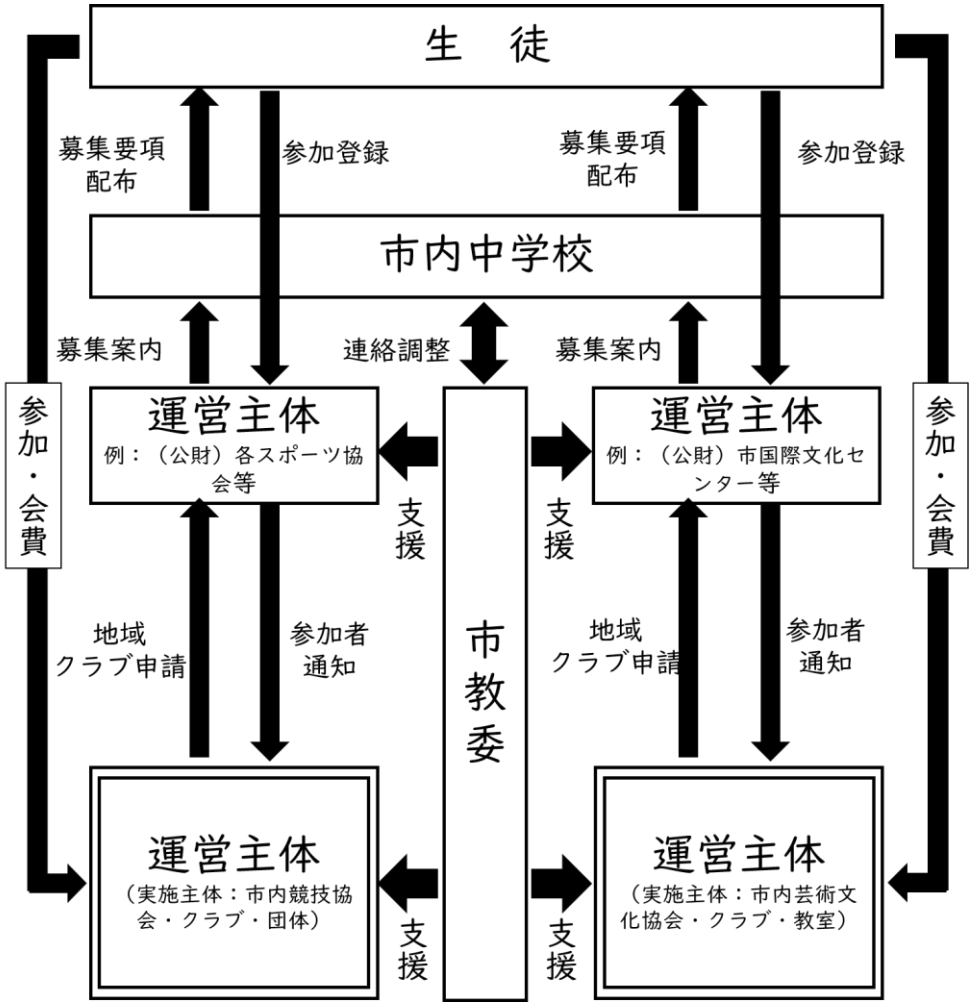
- あり方検討会で方向性を示すことができ、競技協会の中でも本格的にクラブ立ち上げの動きがある等、地域展開の意識の促進を図ることができた。
- 運動部の将来的な運営主体の受け皿として市スポーツ協会が関わる形で合意した。
- 来年度中に休日の地域展開完了見込み。

今後の取組における課題

- 運営体制の具体化を図る。（右図）
- 平日への地域展開拡充に向けた支援方法等の整備を図る。

課題への対応方針

- スポーツ協会との連携を密にし、具体的な日程（案）決定
- クラブチーム増加による活動場所確保が急務である。
- レクリエーション（マルチ）スポーツ教室の実施、拡大、拡充をしていく。



2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

○研修への積極的な参加促進と支援を行う。
- 指導者向けの研修の場を用意する。(市独自1回、県研修会への参加促進)研修は、2年間のうちに必修とする。（コンプライアンス、救命救急）
- 今年度は、熱中症予防対策研修を追加する。

○指導者資格取得の促進を図る。
- 指導者資格取得のための補助制度を継続する。

○安全・安心な活動の実施に関する取組を行う。
- 市民病院との連携（スポーツ障害チェック）を継続する。

今後の取組における課題

- 中体連大会への出場の際、競技によって上位資格が必要となるため、さらなる資格取得を促進する必要がある。

取組の成果

- 資格取得補助活用者は2名（昨年1名）
- 26/30運動部から1運動部増え、27/30運動部で年間を通して実施することができた。
- コーチ資格保有者は19/65名、審判資格を含めると35/65名

課題への対応方針

- 研修会の継続した案内を行う。
- 指導者説明会での研修の案内を行う。（早めの通知）
- 指導者資格取得促進　→　実情に応じた制度の検討を行う。

指導者の資格取得促進に向けた取組

- 資格取得資金の援助を行う。
- 市の研修を例年より1回増加した。（熱中症予防対策研修）

指導者総数	65人
資格所持指導者数	19人
本年度資格を取得した指導者	2人

平日・休日の一貫指導に関する取組

- 地域クラブ活動における平日の活動を推進するため、学校開放時間の調整を行う。

例）

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動	地域クラブ 1.5h	地域クラブ 1.5h	休養	地域クラブ 1.5h	休養	地域クラブ 3h	休養

平日：放課後17:30～夜間開放19:00の時間で指導者対応可能な時間帯

- 平日17:30～19:00の時間帯で、地域クラブとして活動する際の生徒の安全確保、用具・施設管理、施錠等はクラブチームが責任をもって対応する。
- 鍵の借用については、学校開放利用団体と同様とし、19:00からの学校開放利用団体が存在する際は、鍵を引き渡す。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

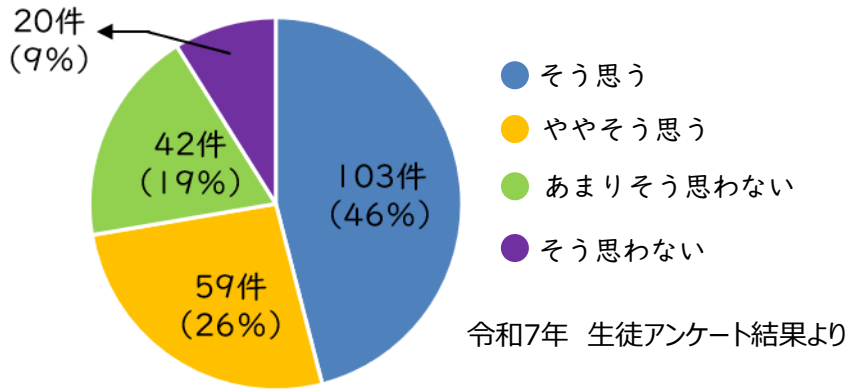
取組事項

○ 各競技団体と連携し、実施主体及び指導者の派遣を依頼
○ 生徒の「もっと活動がしたい」というデータを実施主体となる競技協会へ提示し、活動拡大への理解促進
○ 未実施である種目の競技団体、部活動指導者と地域展開に向けての展望を協議

取組の成果

- 未実施だった清明中学校女子バスケットボールで、指導者の確保ができ、9月より休日の展開を実施した。
- 未実施種目（男子バレーボール）において、クラブチーム立ち上げの合意を行った。（4月～）
- 未実施種目（サッカー競技）において、既存のクラブチーム内に中体連クラブチームの立ち上げの合意を行った。（8月～）

地域の指導者に平日も教わりたいと思いますか



令和7年　生徒アンケート結果より

今後の取組における課題

- クラブ数増加による活動場所確保、予約状況の可視化、鍵の運用等現状の方法では対応が困難である。
- 指導者の高齢化、なり手不足等により、現在の指導体制を維持していくことが困難である。(競技によって差があり、マイナー競技では特に顕著な差がある)
- 「もっと活動がしたい」生徒の増加による、運営側（地域クラブ側）の受入数が限界の競技もある。

課題への対応方針

- 地域共同課と連携し、市の施設予約システム内に学校体育施設を追加予定している。
- 各競技の指導者同士、事務局で連携・連絡を取り合い、円滑な活動ができるようにする。
- 鍵についても、防災用に設置されたキーボックスの利用を検討する。
- 各競技協会へ人材育成バンクの活用を周知する。（市内外から指導者を募る）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

○ 市内全2中学校
- 清明中学校13部活動/全14部活動中
- 明峰中学校14部活動/全16部活動中　計27/30部活動を対象に実践

＜清明中学校＞
①陸上競技　②柔道　③剣道　④男子バドミントン　⑤女子バドミントン
⑥男子ソフトテニス　⑦女子ソフトテニス　⑧男子卓球　⑨女子卓球
⑩軟式野球　⑪男子バスケットボール（9月～）
⑫女子バレーボール（10月～）⑬女子バスケットボール（9月～）

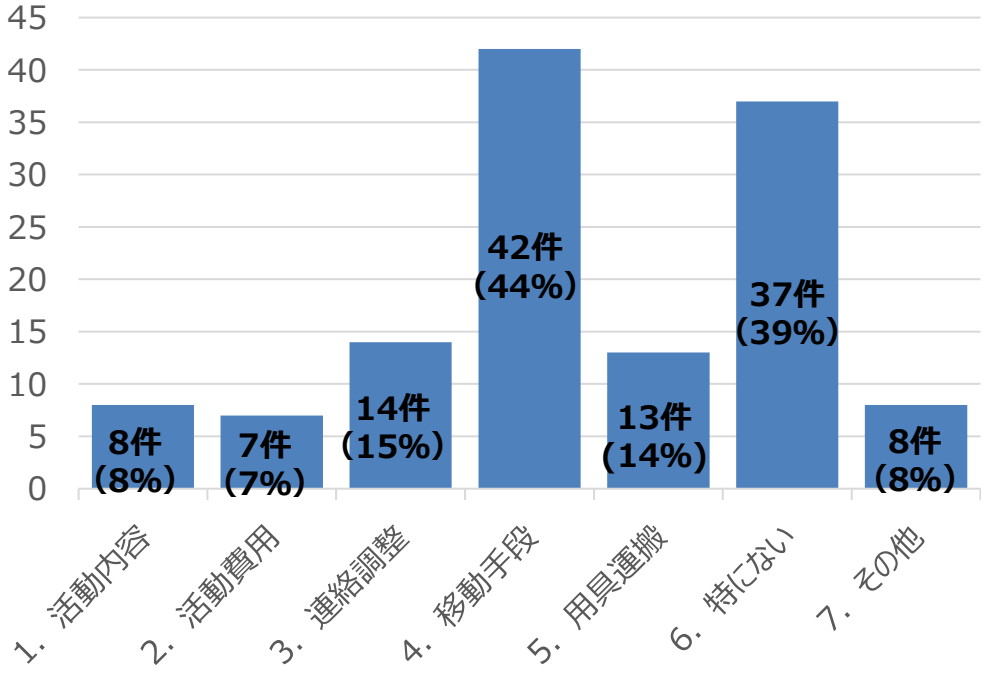
＜明峰中学校＞
①女子バレーボール　②男子バスケットボール　③女子バスケットボール
④アーチェリー　⑤陸上競技　⑥柔道　⑦剣道　⑧男子バドミントン
⑨女子バドミントン　⑩男子ソフトテニス　⑪女子ソフトテニス
⑫男子卓球　⑬女子卓球　⑭軟式野球

取組の成果

- 令和8年度中に、休日への地域展開が完了見込み。
- 女子バレーボール×2（選手育成型、普及型）、男子バスケットボール、バドミントンの1部、ソフトテニスの1部がクラブチームとして活動を開始した。
- 令和8年度、男子バレーボール、柔道、サッカーがクラブチームとして活動予定している。

今後の取組における課題

各アンケート結果より、「活動場所への移動」が負担になっていることがわかる。



保護者アンケート「負担に感じること（複数回答可）」より

課題への対応方針

- 国の「交通空白」の解消等に向けた地域交通のリ・デザイン等の活用を検討を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

○各競技団体と検討を重ね、体制の整ったところから、平日も含めた地域展開へ活動を拡大する。
○各競技団体からの依頼により、トップアスリートや著名な指導者を招聘してのトップアスリート育成教室を開催する。

取組の成果

- 今年度は、パリ五輪、東京2025世界陸上に男子400mハードル出場の豊田　兼選手を招聘した。
- 来年度は、阿部　詩選手（柔道）を4月に招聘予定。





今後の取組における課題

- 全競技からの要望に応えられる予算建てとはなっていないため、更なる財源の確保が必要となる。
- 各競技からの希望ではあるが、選手たちにもアンケート等を取り、できる限り選手の意見を（反映した講師、内容の選定を心掛けたい。
- 平日に指導に携わることができる指導者の確保が必要である。(休日に指導することは可能であるが、仕事の都合で平日の指導が難しい指導者が多い)

課題への対応方針

- 各競技への周知徹底、予算の拡充による、より多くの競技での実施をする。
- 選手の意見聴取を行う。（アンケート等）
- 各競技ではなく、全ての競技で応用できるような内容の充実を図る。（フィジカル、メンタル、コーチング、スポーツコミュニケーション等）
- 地元企業等で活躍している現役の選手へ指導の依頼を行う。(平日の地域移行に向けて地元企業への協力依頼)

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

○困窮世帯への支援に関する取組を行う。
- 経済的困窮世帯の生徒が地域スポーツクラブ活動に参加する場合、 参加費、保険料を全額免除する。
- 条件等は就学援助制度と同等とする。

○成果
- 15名〈昨年14名〉が申請

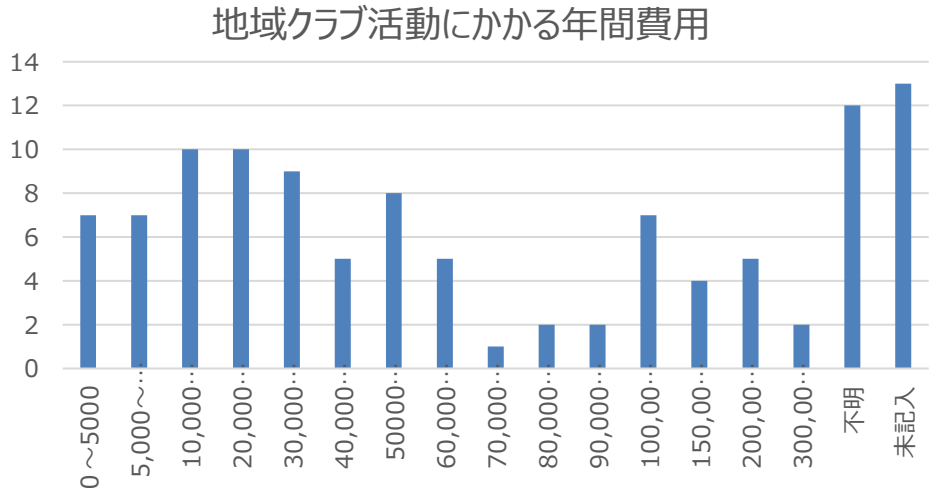
受益者負担について

○R6年の地域クラブ活動登録人数＝362名

○R6年の地域クラブ活動実証事業総事業費＝14,476,000円

○1人当たりの年額　約40,000円　→　月額　約3,300円

昨年の試算より



令和7年保護者アンケート「お子様のスポーツ活動において、年間でどんな費用がどのくらいかかっているのか教えてください」結果より

年間10万円以上の負担層も存在する。今後は回答精度向上及び費目別把握の工夫が求められる。

平均：約62,710円/年　→　約5,230円/月

昨年、試算した月/約3,300円より、実際は2,000円程度高い金額となったことから、今後の支援方法を検討していく必要がある。

今後、地域スポーツクラブ化がすすみ、各クラブに受益者負担が発生した際にも、何らかの免除制度を持続していくために、会費の適切な設定・徴収方法の検討や、保護者負担経費の調査を検討していく必要がある。

また、活動にかかるその他費用についても支援できるような方法も検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

○ 学校施設を利用する際、学校開放の施錠の管理の仕組みを活用する。
→学校開放団体への確実な受け渡し等が課題となったため、体育館器具庫の鍵をキーボックスを設置して管理を行う。
○ 学校開放時間前の学校施設の利用について、使用割、利用簿を作成する。
→地域スポーツクラブ増加により、来年度から市の施設予約システムの使用を検討、鍵についても防災用キーボックスの利用を検討を行う。
○ 各自で利用したい施設、施設の利用状況を確認できるようにシステム化を行う。
→市の既存のシステムを使用してR8年度10月より開始する。

用具使用・管理等における取組

○ 学校部活動で使用している施設、用具を活用して実施する。（学校顧問に協力してもらい利用調整を行う）
→体育館器具庫等の利用に関しては、安全上、防犯上の観点から検討が必要である。
○ 閉校となった旧中学校(2校)を利用している。
○ 上記で対応できない物品については、地域クラブ運営補助金を準備し、用具の準備等に充てる。
→今年度は、女子バレーボール、ソフトテニスが申請を行った。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

27/30運動部活動を対象に実証事業を展開した。指導者とのヒアリングでの各競技における課題把握では、競技ごとに様々な課題が挙がったが、やはり、①移動手段の確保が1番の課題となっており、移動手段がないため活動を断念する生徒もいる。

今年度も参加生徒、保護者、部活動顧問、指導者を対象にアンケートを実施した。アンケート結果からは、おおむね前向きな意見をいただいているが、送迎や移動に負担を感じている保護者、生徒も多数存在する。貴重な意見を今後の活動につなげ、持続可能な活動となるよう、環境整備をしていかなければならない。

コーチ資格を保有している指導者の数が19/65と全体の3分の1を下回っており、より、質の高い指導ができるように、コーチ資格の取得や指導者補助金の活用を促していく必要がある。

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめより、改革実行期間が前期、後期と設定されたことに伴い、本市でも部活動を地域へ展開していく期間について検討することができた。

●成果の評価

○ 男子バスケットボール、女子バレーボール2チームが地域スポーツクラブとして活動開始。
○ バドミントンの一部、ソフトテニスの一部でも地域スポーツクラブとして活動開始。
○ 来年度4月から、柔道、男子バレーボールが地域スポーツクラブとして活動開始予定。サッカーは8月から地域スポーツクラブとして活動を開始予定。
○ 地域展開できていなかった男子バレーボール、サッカーが地域展開へ合意形成できたことで、来年度中に全運動部（30/30）で休日への地域展開完了見込み。
○ 昨年度に引き続き、軟式野球、柔道、剣道が平日の活動を継続。今年度からアーチェリーも平日の活動を開始。

●今後に向けて

○ 地域クラブ登録要件の整備を行う。（令和8年度から認定・登録制度を施行）
○ 活動場所確保に向けた予約方法や優先順位等の規約整備を行う。（令和8年度より市の施設予約システム内に学校体育施設も含めて活用予定。鍵についても防災用キーボックスを利用予定）
○ 具体的な支援方法を検討する。（今年度より、地域クラブ運営補助金を準備）
○ 生徒・保護者・教員・競技協会等、関係者へ文化活動も含めた方針の周知を図る。（それぞれの会議等で令和10年度末を目指し、平日も含めた活動を地域へ展開する方向性伝達。令和8年度より休日の学校部活動原則禁止を伝達）
○ 多様なニーズに応えるための教室やマルチスポーツクラブの実施を検討する。
○ 移動手段確保に向けた施策を講じる。

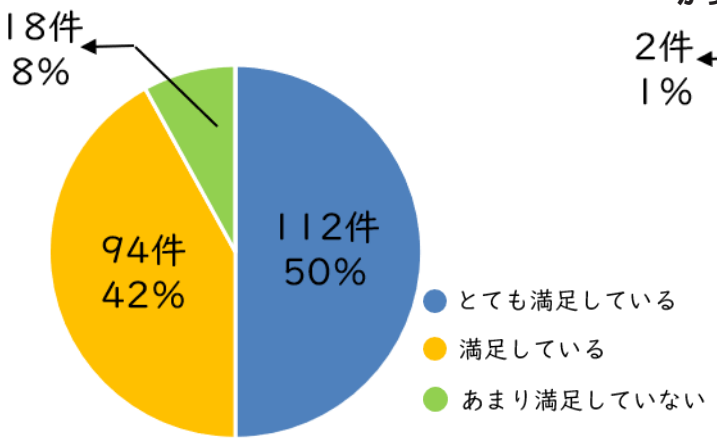
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

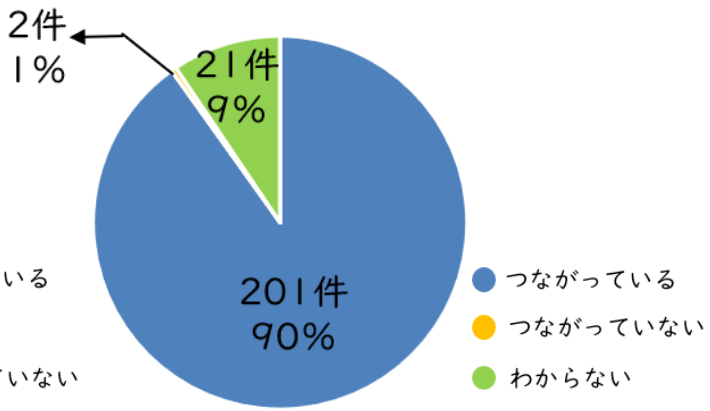
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

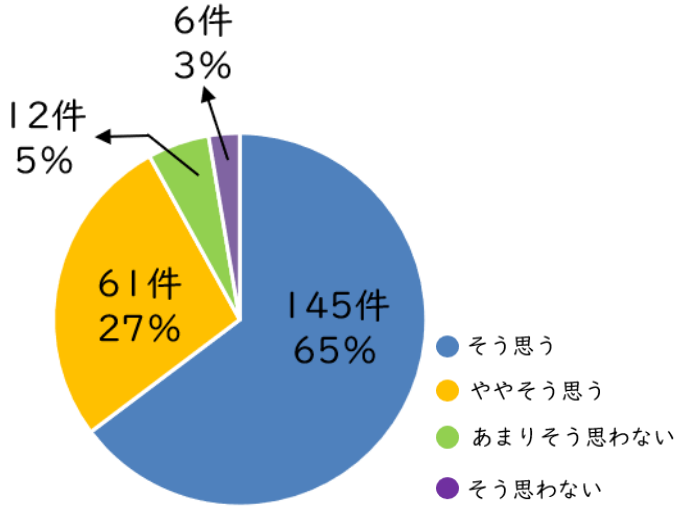
Q.指導内容満足度（生徒）



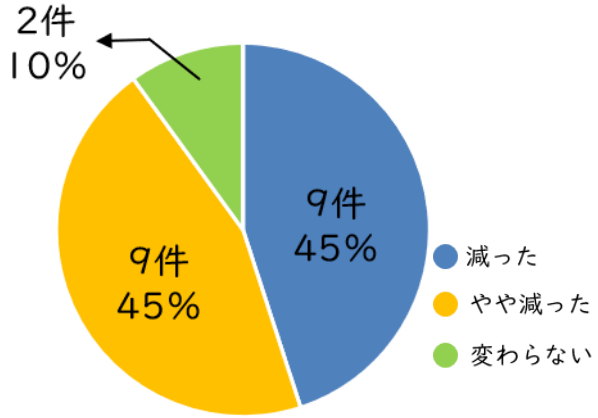
Q.地域クラブ活動が技術・意欲の向上につながっていますか？（生徒）



Q.中学卒業後もスポーツを継続したいと思いますか?（生徒）



Q.地域クラブ活動の取り組みにより、部活動指導の負担感は減りましたか?（部活動顧問）



●参加者/関係者の声

参加者/生徒

Q:地域クラブ活動（休日の活動）が、技術向上や意欲向上につながっていますか。（その理由）

A:

- **実際に市の大会等で結果を残せているから**
- **意味のある練習をしているから。指導者含めみんなに目標があり、それを達成したいから。**

参加者/地域クラブ指導者

Q:そのほか、ご意見・ご感想がありましたら、自由に記入してください。

A:指導者の確保と継続的な活動の仕組みを構築する上で、指導者の所属企業の協力性が必須と感じる。行政が間に入ってもらい、地域全体の方向性として理解を得たい。是非、個人的な関わりにならないことを願う。

参加者/地域クラブ指導者

Q:将来、若い指導者を育てたり、引き継いだりする仕組みは整っていますか？

A:現在、20代の指導者が何人かいる。中学校時代、私たちが教えた生徒であるが、今後もそういう子が増えてくると思う。

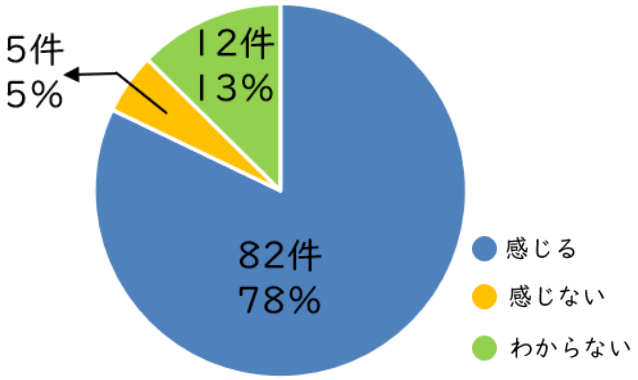
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

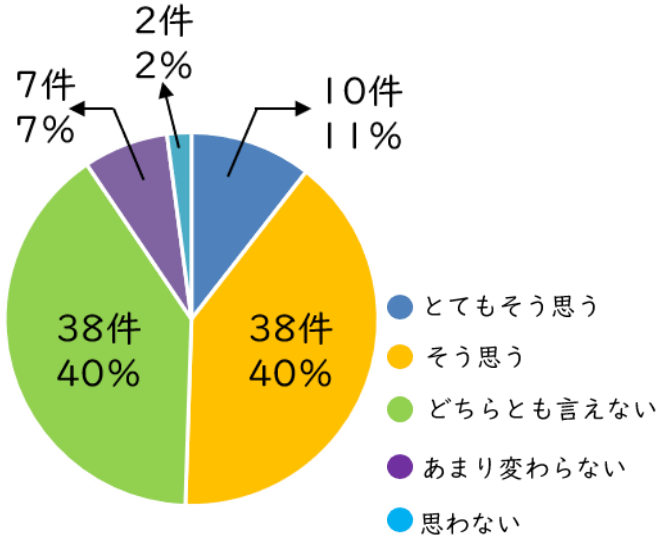
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

Q:地域クラブ活動がお子様の技術・意欲向上、またスポーツ活動を通した成長につながっていると感じますか？（保護者）



Q:地域クラブ活動は、今後も安定して継続できる仕組みだと思いますか？（保護者）



Q:「地域クラブ活動」のメリット・良い点について思っていることを教えてください。（地域クラブ指導者）

- 種目毎の専任コーチにより、レベルの高い指導を行うことができる。
- 競技を通じて地域の方々とコミュニケーションを図ることができる。学校の枠を超えて視点の違いや協調性を育むことができる。
- 地域型指導者の人数が多い分、技術指導担当、保健安全担当、会計担当等に分けることができ、負担が減る。

Q:「地域クラブ活動」のデメリット・改善すべき点について思っていることを教えてください。（地域クラブ指導者）

- 平日もとなった時を考えると練習会場が不足している。
- これから平日も指導するとなると、学校終了時に指導者が行くのは難しい。（仕事を持っている人が多い）
- 生徒の抱える身体的、精神的なトラブル等詳細な部分は週1～2回の活動では把握しきれないため、学校や家庭との関わり方を密にする必要があると感じる。知らないことでケガや精神的ダメージを与えないよう配慮したいため。
- 黒部市内に2学校の中学生が練習する場がないので、保護者の送迎が必要である。

●参加者/関係者の声

参加者/部活動顧問

Q:地域クラブ活動（地域展開）は、今後も持続可能な仕組みだと思いますか？

A:指導してくださる方々に、十分な報奨を渡せない限りは、先細りしていくと考えます。

参加者/部活動顧問

Q:地域クラブ活動の取り組みにより、生徒の技術・意欲・興味・関心等の変化は感じますか。気づくことがあれば教えてください。そのほか、良かったことについても教えてください。

A:技術の向上はあると思う。地域型に参加している生徒とそうでない生徒の間に意識の差があるのは顕著になった。

参加者/保護者

Q:ご意見・ご感想・困り事がありましたら、自由に記入してください。

A:指導者が専門的技術を持っていたとしても、子供達への対応が不適切であったり保護者への連携もスムーズでないと継続は難しいと思います。

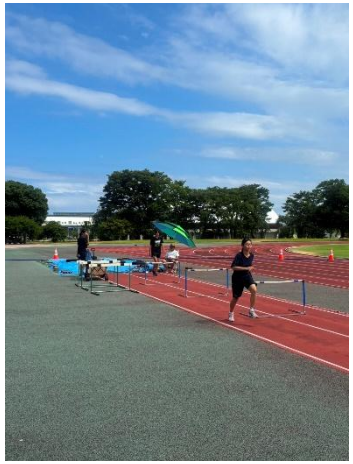
2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



陸上種目別練習：投擲



陸上種目別練習：ハードル





バドミントン：習熟度別練習





ソフトテニス：習熟度別練習





アーチェリー：習熟度別練習

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年		令和3年9月	令和4年～7年
協議会設置、検討開始、拠点校の選定、受け皿団体や指導者の選定	学校現場との調整	生徒、保護者、指導者への説明、指導者講習の実施	地域クラブ活動の開始	地域クラブ活動の拡大
● 検討会メンバー 教育長、中学校校長、市中体連、各競技協会代表者、市体育協会、PTA代表 ● 経過 ① 教育委員会が主導であり方検討会の設置 ② 協力可能な競技協会の競技で拠点校を決定 ③ 競技協会へ指導者の派遣依頼 ● 実施にあたって生じた課題 • 実施競技の選定方法 • 指導者の条件 ● 工夫した点　等 • 事前に計画を提示し、スポーツ課が競技協会へ協力を打診。可能な競技が複数確保できたところで、検討会を設置し、協議。 • 競技協会が推薦する指導者を選定	● 関係者 • 学校長、教頭、事務局 ● 経過 • 複数回の打合せ、申し合わせを実施。 • 教職員と意見交換を行った。 ● 実施にあたって生じた課題 • 生徒の移動手段 • 道具の共用・運び出し • 鍵の管理 • 実施開始日 • 連絡体制 • 兼職兼業 • 顧問と指導者の打ち合わせ ● 工夫した点　等 • 学校側と以上課題の注意点や現状のルール等を確認したうえで、要項等作成。	● 関係者 • 学校長、教頭、事務局 ● 経過 • 複数回の打合せ、申し合わせを実施。 • 教職員と意見交換を行った。 ● 実施にあたって生じた課題 • 生徒の移動手段 • 道具の共用・運び出し • 鍵の管理 • 実施開始日 • 連絡体制 • 兼職兼業 • 顧問と指導者の打ち合わせ ● 工夫した点　等 • 学校側と以上課題の注意点や現状のルール等を確認したうえで、要項等作成。	● 経過 • 令和4年～7年はすでに地域クラブとして活動しているものは継続実施 • 令和4年途中、学校部活動意識調査を実施 • 令和6年～両校軟式野球部が新たに実施 • 令和7年～クラブチームとして活動を開始するクラブが増加（女子バレーボール×2、男子バスケットボール、バドミントンの一部、ソフトテニスの一部） • 令和7年～清明中学校女子バスケットボール部が新たに実施（9月～） • 未実施の競技の競技協会への打診、依頼 • 実施可能となったところから随時拡大 ● 工夫した点　等 • 週1回、月2回等競技の実情に応じたスタートを可とすることで実施競技拡大につながった。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

黒部市地域クラブ活動ロードマップ

	← 改革推進期間 →			← 改革実行期間（前期）→			← 改革実行期間（後期）→		
	R５	R６	R７	R８	R９	R10	R11	R12	R13
概　要	●実証事業3年目 ・22/30運動部で実施	・24/30運動部で実施	・27/30運動部で実施	・登録・認定制度 ・原則、休日の学校部活動は行わない ・全運動部で休日への地域展開完了	・可能な限り、平日も含む活動を拡大	・全運動部で平日も含めた地域展開完了	・全運動部活動で新しい放課後活動の実施		
全　体	地域クラブ活動によるスポーツ・文化活動受け皿の確保、支援方法の検討、施行、財源確保 持続可能な運営体制の整備　例）運動部→市スポーツ協会　文化部→市内芸術文化協会　等								
地域クラブ活動		明峰中：軟式野球　清明中：軟式野球	清明中：女子バスケットボール BC Kurobe　黒部VC　地域クラブ化 Cereje VC　黒部ジュニアバドミントンクラブ　地域クラブ化 ＮＳＴＣ（ソフトテニス）　地域クラブ化	黒部ジュニア柔道クラブ　地域クラブ化 男子バレー（クラブ名未定）　地域クラブ化 サッカー			平日を含む 地域クラブによる 地域スポーツ・芸術活動の実施		
	明峰中：~~女子バレー~~、~~男子バスケ~~、女子バスケ、アーチェリー 合　同：陸上、~~柔道~~、剣道、バドミントン、ソフトテニス、卓球								